



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 6676 URL https://melco-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 寛之
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 額 保一 TEL 03-4213-1122
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	70,050	2.0	1,798	△45.7	1,647	△50.4	1,275	△41.8
2023年3月期第2四半期	68,707	△2.0	3,310	△51.7	3,318	△54.3	2,190	△56.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,904百万円(△18.2%) 2023年3月期第2四半期 2,329百万円(△53.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	75.83	—
2023年3月期第2四半期	129.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	93,674	63,064	67.3	3,761.95
2023年3月期	93,410	62,463	66.9	3,705.70

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 63,064百万円 2023年3月期 62,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年3月期	—	60.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	3.8	1,800	△60.2	1,600	△66.1	1,200	△60.8	71.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	16,937,873株	2023年3月期	16,937,873株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	173,946株	2023年3月期	81,726株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	16,819,570株	2023年3月期2Q	16,873,494株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本および世界経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染拡大防止のための行動制限緩和によって、社会経済活動の正常化が進んだものの、ウクライナ情勢の長期化、世界的な物価の上昇、円安の更なる進行など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループに関係するデジタル家電業界は、法人向け市場において、企業の設備投資には回復傾向がみられたものの、個人向け市場においては、物価高による消費余力の低迷などにより、需要の縮小は継続しております。また、生麺業界でのチルド麺・冷凍麺市場は、家庭用市場において、価格改定の影響などにより食数では前年を下回るも金額では前年を上回りました。一方、業務用市場においては、外食市場の回復などを受け、食数・金額とも前年を上回りました。

こうした状況下、IT関連事業では、全社的にテレワークの実施、オフィス内での分散勤務、遠隔会議システムの利用など業務継続を確保するための対策を継続し、安定した商品供給を最優先としながら、主力商品の積極的な販売活動に努めました。また、食品事業においても、引き続き感染症対策を徹底の上、原材料の安定調達と商品の安定供給に努めると共に、売上・利益の拡大に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高700億50百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益17億98百万円（同45.7%減）、経常利益16億47百万円（同50.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億75百万円（同41.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

IT関連事業

主力とするパソコン周辺機器市場において、法人向け市場ではネットワークで企業DXを支援する一環として、最新規格Wi-Fi 6E^{*1}に対応し、最大768台^{*2}の同時接続が可能な法人向けトライバンドWi-Fiアクセスポイントを発売いたしました。また、介護ロボットなどを扱う企業様と連携し無線LANの動作確認を行い、ネットワーク環境構築を通じて介護分野の業務ICT化の支援をいたしました。個人向け市場では、より快適な通信を実現する最新規格Wi-Fi 6Eに対応し、独自設計による12ストリーム外付け「トリプルバンドダイポールアンテナ」を搭載したWi-Fiルーターフラッグシップモデルの発売などラインナップの拡充を図りました。商品の安定供給に努めシェアは維持・拡大したものの、国内需要の縮小により売上高は横ばいとなり、円安を主要因とする原価高騰により、利益面では非常に厳しい収益環境となりました。

一方、当社グループ会社が国内代理店を担っている高性能空気清浄機「Airdog」においては、全体の販売台数は前期を下回りましたが、販路拡大に取り組み百貨店などでは販売台数が増加いたしました。またAirdogブランドでの高性能サーキュレーター扇風機「Airdog The Fan」も好調な販売となりました。

これらの結果、売上高483億67百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント損失5億77百万円（前年同四半期セグメント利益15億64百万円）となりました。

食品事業

販売面では、家庭用は、主力商品の「流水麺」そば2人前に国産そば粉を使用し付加価値を高めると共に、テレビCMと消費者キャンペーンを実施するなど、積極的に付加価値商品や節約志向に対応した「太鼓判」や家庭用冷凍麺などの拡販に努めました。業務用は、ロングセラーの「真打」稲庭風うどんなどの付加価値商品の提案を強化し、継続して新規需要の開拓を推進いたしました。利益面では、主原料の小麦粉・そば粉などあらゆる原材料や人手不足により製造労務費が上昇する中、引き続き原価の低減に取り組むと共に、2023年2月実施の商品価格改定の定着に努めました。

これらの結果、売上高215億67百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益29億64百万円（同27.4%増）となりました。

※1：Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

※2：各バンドにつき256台、実効スループットは環境に依存します。台数は理論値です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は936億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億64百万円増加しました。流動資産は656億93百万円となり、3億27百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少25億90百

万円、その他流動資産の減少22億84百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加32億6百万円、原材料及び貯蔵品の増加8億31百万円、商品及び製品の増加5億11百万円によるものです。固定資産は279億81百万円となり、5億91百万円増加しました。これは主に、無形固定資産の増加7億72百万円、有形固定資産の減少2億60百万円によるものです。

負債合計は306億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億37百万円減少しました。流動負債は275億29百万円となり、4億12百万円減少しました。これは主に、その他流動負債の減少8億61百万円、未払法人税等の増加4億39百万円によるものです。固定負債は30億80百万円となり、75百万円増加しました。これは主に、役員退職慰勞引当金の増加1億2百万円、その他固定負債の減少37百万円によるものです。

純資産合計は630億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の獲得12億75百万円、配当金の支払10億11百万円、自己株式の取得2億92百万円、その他の包括利益累計額の増加6億29百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は179億16百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は8億83百万円となりました。これは主に、法人税等の還付22億8百万円、税金等調整前四半期純利益17億14百万円、減価償却費14億4百万円、売上債権の増加による資金減少26億65百万円、法人税等の支払17億93百万円、棚卸資産の増加による資金減少12億70百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は21億27百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出12億98百万円、有形固定資産の取得による支出8億98百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入81百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は14億3百万円となりました。これは主に、配当金の支払10億11百万円、自己株式の取得による支出2億92百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、最近の動向を踏まえ、2023年5月12日に公表しました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は本日(2023年11月13日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,506	17,916
受取手形、売掛金及び契約資産	16,693	19,900
商品及び製品	15,284	15,796
原材料及び貯蔵品	7,136	7,968
その他	6,405	4,121
貸倒引当金	△7	△10
流動資産合計	66,020	65,693
固定資産		
有形固定資産	11,236	10,976
無形固定資産	3,394	4,167
投資その他の資産		
投資有価証券	10,395	10,539
その他	2,487	2,421
貸倒引当金	△124	△124
投資その他の資産合計	12,757	12,837
固定資産合計	27,389	27,981
資産合計	93,410	93,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,588	14,332
電子記録債務	742	946
1年内返済予定の長期借入金	99	—
未払金	3,117	2,776
未払費用	2,920	3,315
未払法人税等	303	742
契約負債	4,432	4,537
役員賞与引当金	15	14
製品保証引当金	74	78
その他	1,646	784
流動負債合計	27,941	27,529
固定負債		
退職給付に係る負債	2,173	2,184
役員退職慰労引当金	501	603
リサイクル費用引当金	140	139
その他	189	152
固定負債合計	3,005	3,080
負債合計	30,946	30,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	61,092	61,356
自己株式	△267	△559
株主資本合計	62,075	62,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611	884
繰延ヘッジ損益	31	250
為替換算調整勘定	△31	73
退職給付に係る調整累計額	△222	△190
その他の包括利益累計額合計	388	1,017
純資産合計	62,463	63,064
負債純資産合計	93,410	93,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	68,707	70,050
売上原価	49,884	51,942
売上総利益	18,823	18,107
販売費及び一般管理費	15,512	16,309
営業利益	3,310	1,798
営業外収益		
受取利息	0	0
受取ロイヤリティー	35	35
受取配当金	91	57
持分法による投資利益	25	—
その他	76	56
営業外収益合計	228	149
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	183	149
持分法による投資損失	—	111
支払手数料	3	2
その他	31	36
営業外費用合計	221	300
経常利益	3,318	1,647
特別利益		
投資有価証券売却益	—	76
特別利益合計	—	76
特別損失		
固定資産除却損	13	9
訴訟関連損失	415	—
特別損失合計	428	9
税金等調整前四半期純利益	2,889	1,714
法人税、住民税及び事業税	646	657
法人税等調整額	52	△218
法人税等合計	699	439
四半期純利益	2,190	1,275
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,190	1,275

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,190	1,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	271
繰延ヘッジ損益	△13	219
為替換算調整勘定	97	70
退職給付に係る調整額	48	30
持分法適用会社に対する持分相当額	60	37
その他の包括利益合計	139	629
四半期包括利益	2,329	1,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,329	1,904

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,889	1,714
減価償却費	1,016	1,404
受取利息及び受取配当金	△91	△57
持分法による投資損益 (△は益)	△25	111
支払利息	2	0
訴訟関連損失	415	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△76
売上債権の増減額 (△は増加)	2,066	△2,665
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,319	△1,270
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,296	△542
未収入金の増減額 (△は増加)	75	449
未払金の増減額 (△は減少)	△370	51
その他	△947	1,090
小計	4,008	209
利息及び配当金の受取額	293	259
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△2,318	△1,793
法人税等の還付額	124	2,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,106	883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△910	△898
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△1,506	△1,298
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△6,702	△16
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	13,411	81
その他	11	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,305	△2,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△449	△99
自己株式の取得による支出	△0	△292
配当金の支払額	△1,012	△1,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,462	△1,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	82	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,031	△2,590
現金及び現金同等物の期首残高	21,834	20,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,866	17,916

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	IT関連	食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	48,871	18,657	67,528	—	67,528
一定の期間にわたり移 転されるサービス	930	—	930	248	1,178
顧客との契約から生じ る収益	49,801	18,657	68,459	248	68,707
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	49,801	18,657	68,459	248	68,707
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	1,459	1,459
計	49,801	18,657	68,459	1,708	70,167
セグメント損益	1,564	2,326	3,891	551	4,442

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,891
「その他」の区分の利益	551
セグメント間取引消去	△1,131
四半期連結損益計算書の営業利益	3,310

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	IT関連	食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	47,267	21,567	68,834	—	68,834
一定の期間にわたり移 転されるサービス	1,099	—	1,099	115	1,215
顧客との契約から生じ る収益	48,367	21,567	69,934	115	70,050
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	48,367	21,567	69,934	115	70,050
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	—	3	1,209	1,213
計	48,371	21,567	69,938	1,324	71,263
セグメント損益	△577	2,964	2,387	△3	2,384

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,387
「その他」の区分の利益	△3
セグメント間取引消去	△585
四半期連結損益計算書の営業利益	1,798